

# 福島教区報

天理教福島教務支庁

〒960-8022 福島市新浜町7番26号  
TEL 024-534-2251 / FAX 024-534-2404

教会数 123ヶ所  
布教所数 109ヶ所  
長らくほく数 3344人  
(R18.9月末現在)



## 婦人会創立110周年記念総会

「婦人会員決起の集い」4会場終了、

5月から9月16日まで、全国各地で「婦人会員決起の集い」が開催された。福島教区でも、8月31日、福島教務支庁において開催され、100名が参加した。本部講師は尾崎八寿子先生で、渡引千穂さん(東

安達)と富田まつ子さん(福相)が感話を行った。また、9月14日には磐城平大教会で開催され、107名が参加した。中川えつ子・本部講師が講話、荒井のり子さん(安達)、澤田フミ子さん(磐崎)の2名が感話を行った。

活動方針の実行と「一人が二人の会員をご守護頂きましょう」との活動の徹底を目指して開催されたこの「集い」に参加した婦人会員は、今、自分にできるご恩報じ・おたすけはどんなことかを考え、来年4月19日に開催される「婦人会創立110周年記念総会」へ向けて、日々、実践を心掛け、多くの方と共におちばに帰ることを誓った。

「決起の集い」を終え、平澤栄美主任は、「福島教区内で、どうしても参加できなかった方には、一人ひとりに声を掛け、「集い」の思いを、是非、お伝え願いたいと思います。」とさらなる丹精を求めた。

(E・H)

第29回女子青年大会  
11月3日(日)  
午後10時 本部中庭

- 10月25日、11月24日、1月26日  
「みちのだい感話大会」おちばで開催
- 10月20日～11月30日 「別席強調期間」
- 11月30日 「教区婦人の集い」 福島教務支庁

# 全教「育つをむがせ」

## 「一人でも多くのようぼくのようぼくの実動を」

今年も9月を「にをいがけ強調の月」と定め、28日から30日の3日間を「ようぼく実動の日」として、一人ではなかなかをいがけができないようぼくが、仲間と共に布教活動をする機会とされた。

安達支部（本田道弥支部長）では、28日は安達分教会周辺、29日は



安積分教会周辺、30日は安達町周辺で、戸別訪問を中心にをいがけ活動を実施、延べ60名が参加した。3日間で配布したリーフレットは2千598枚だった。また29日は、にをいがけ活動後、芋煮会を催し、食事をしながら、活動を振り返る時間も持たれた。参加者からは、「3日間参加させていただきま

した。普段なかなか一人ではできないにをいがけですが、みんなと歩いて、勇んでつとめさせていただきました。普段から少しでもをいがけに歩けるようにしたいです。」との感想も聞かれた。

活動を終えて本田支部長は、「今年も多くのようぼくの方に実動していただきありがたいと思う。11月の基礎講座にも、友人知人を誘って参加してほしい。」と話した。

(H・A)

### 道の教職員 の集い

「道の教職員 夏の集い」  
1名参加

8月7、8日、おちばで

「第62回道の教職員 夏の集い」が開催され、330名が

参加した。福島教区からは1名が参加した。

永尾教昭・本部員（天理大学学長）の「陽気ぐらしの教育」と題した特別講演や、杉江健二氏（名古屋明誠学院学院長・美張分教会長）の「子育て支援の現場から見えてくる家族のおたすけ」とのテーマの教育講演をはじめ、(2)

グループトーク、体験発表などのプログラムで、今年のテーマである「育てる工夫と育てる努力」について、それぞれが現場で心掛けていることなどをお互いに話し合った。また分科会では、「天理スポーツ教室」や「道の幼児教育」など、新たに設けられたものも含めて11コースから、それぞれが事前に選択したテーマについて、研鑽を深め、今後の教育実践に生かそうと、熱心に受講した。

(Z・F)

少年ひのきしん隊  
本部練成会

立教182年少年ひのきしん隊本部練成会に、福島教区団(近藤直光団長)は隊員5名(男子3名、女子2名)、カウンセラー3名の計8名で参加しました。本年も7月29日の事前研修会から始



まり、8月6日の解散まで、猛暑の中、おちばでひのきしんに、修練にと、充実した時間を過ごして参りました。

隊員5名中3名が初参加であり、不安もあったのですが、事前研修会で、みんなと直ぐに溶け合い、仲良く期間中を過ごす事が出来たことは、ありがたかったです。

また、事後研修会では、例年と同じくナガシマスパイラントで、夏休みの思い出作りに楽しいひとときを過ごしました。

隊員の一人から「もっと、早くから参加したかったです」と感想があったように、おちばで過ご



【参加隊員】

安達支部	荒井 美花 (1年)
会津支部	渡部 紘基 (3年)
いわき支部	上野 真弥 (3年)
	平澤みのり (3年)
カウンセラー	上野美智弥 (1年)
斎藤 峻徳 (安達)	
平澤 健太 (田村)	
平澤 真衣 (田村)	

す貴重な時間を一人でも多くのわかぎの子供達に味わって貰いたいと思います。

来年は、こどもおちばがえり期間が7月26日から8月2日の8日間と、2日間短縮になります。例年と変わらぬ、実のある内容になると思っていますので、今後とも育成の上にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

(N・K)



## 学生会

### 東北ブロック「Work & Talk 2019 in 山形」に1名参加

東北ブロック大学生の

集い「Work & Talk 2019

in 山形」が、8月29日

から30日まで舟形若あゆ

温泉「あゆっこ村」にて開催されました。学生は全員で12名、福島教区からは1名の参加でした。森の中にある温泉施設内にたくさんのおロッジが並び、快適な場所を会場に使わせていただきました。

開講式が始まると雨が降り出し、先生方のあいさつを短く終わらせ、すぐウォーミングアップ、ワークへとプログラムを進めました。隣の人と肩が触れる位の小さな部屋で自己紹介のできるすぐろくをし、学生同士すぐに打ち解ける事ができました。夕づとめ後、懇親会があり、かなり盛り上がっていました。お楽しみ行事としてナイトウォークを2チームに分かれて行い、先に到着したチームは待っている間、祭儀式の真似事をして前向きに勉強しているよう

した。

今回のテーマは「本当のたすかり

〜今、学生にできるおたすけ〜」。

学生担当委員会松村委員長の講話をいただき、自分にできるおたすけを話し合い、それぞれ発表していただきました。

学生だからこそできるおたすけを真剣に話し合い、自分の目標を決めた今回のWork & Talk。毎年続けて開催されてきたのですが、来年の福島教区で終わりになります。2020年の夏は福島に大勢の道の学生が結集できるように願っております。(M・S)



## 道の教職員の集い

### 「成人塾」開催



道の教職員の集い(古川善一代表世話人)は、8月16日から17日、福島教務支庁を会場に「成人塾」を開催。中学生2名、小学生3名、スタッフ5名が参加した。今年には教務支庁の教職舎が新しくなり、参加者はイス席で学習することができた。

参加者は、揃ってお願いづとめをつとめた後、それぞれに学習を進めた。落ち着いた雰囲気、夜の自主学習の時間や、早朝の時間も積極的に机に向かう子もいた。(Z・F)

# 学生会

## 高校生の集い「まなびば」開催

学生担当委員  
会（杉澤元和委  
員長）では、8  
月18日から19日

まで国立磐梯青少年交流の家にて高校生の集い「まなびば」に猪苗代を開催、スタッフを含め8名が参加しました。

オリエンテーション後、グループタイムに入りました。道の学生が作った川柳をカルタで取り合い、書か



れた質問に答えたり指示に従って動いたりするうちにメンバー同士打ち解け、お互いを知る事ができました。

翌日、グループタイム「村長からのお願い」なるものをメンバー全員でクリアーしていき、最後はタワーの頂上に大輪の花を咲かせる事ができました。その後、

生江先生（教区育成部長）より講話をいただき、その感想を話し合い、最後に「ほめトーク」でメンバーの良いところを見つけ、自分の良いところを見つけ、これから豊かな心で日常生活を送る糧となりました。

今回は「一手一つ」がテーマで、1泊という短い時間の中、互いに認め合い、たすけ合う事によって一手一つになれたようです。(S)

# 少年会

## 「キャンプ錬成会」で自然を満喫

少年会（近藤直光団長）では、今年も8月18日～19日にか

けて、キャンプ錬成会を磐梯青少年交流の家で少年会員3名、育成会員5名の計8名で行わせていただきました。

初日は、野外炊飯（カレーライス）を協力しあいながら作り、美味しくいただきました。夜は、スイカ割りに、名前ビンゴにとお楽しみ行事を通して、親睦を深めさせていただく事が出来ました。

2日目は裏磐梯五色沼遊歩道を、ゴミ拾いのひのきしんをしながら、約4キロの道のりを清々しい夏の空

気と森林浴を味わい、昼食のお弁当を挟み、最後には、桧原湖をモーターボートで周遊して、大自然を満喫したキャンプ錬成会を送らせて貰いました。

来年は、いわきで、海にふれ合う楽しいキャンプ錬成会を計画していますので、楽しみに待っていてくださいね。(N・K)



# 基礎講座

9月15日(日)午後1時30分～3時まで、喜多方市の喜多方プラザ文化センターで、今年2回目、耶麻支部管内では初めての天理教基礎講座(福島会場)が開講されました。

講座は、ビデオによる天理教の紹介と講師・中村五十美先生(新潟教



区基礎講座講師)によるお話で、ご自身の実体験をもとに、心の持ち方をお話くださいました。受講者は48名で、その内、初めての受講者は12名、未信者の方は6名でした。

受講者からは「元気をもらった。日々喜ぶことの大切さ、親のありがたさを感じた。」「先生の話を聞いて勇気ももらった。」などの感想が寄せられました。

今後受講者の方に喜んで帰っていただくという気持ちを忘れずに、たくさんの人に足を運んでいただけるよう、発信力をつけてつとめさせていただきます。今後とも、布教の手立てとしてご利用ください。

(K・K)

**天理教基礎講座(福島会場)**

**11月17日(日)**

**午後1時30分開講**

**二本松市市民交流センター**

**講師・白熊繁一先生**

**(東京教区基礎講座講師)**

# 学生会

「道の学生

ひのきしんデー」

基礎講座会場準備を

手伝い&受講

道の学生が全国各地で仲間と一手つにひのきしんデーを行う「道の学生ひのきしんデー」が、今年は9月15日に行われた。

福島教区では、当日9時に「天理教基礎講座」が開催される喜多方プラザ文化センターに4名の学生が集合し、会場の準備ひのきしんを基礎講座スタッフと共に行った。その後、耶麻支部、会津支部の青年会員と共に、ハートグリーン活動として、文化センター周辺のゴミ拾いを行った。

昼食後は基礎講座を受講。ビデオや講師のお話を通して、改めて天理教の教えを学んだ。また、講師の具体的なお話を通して、陽気ぐらしへと向かう心の遣い方も学ばせていただいた。

(K・K)